

地区広報

かいぞう



人の迷惑 わかる心が よい街つくる

… 児童・生徒による海蔵川堤防清掃奉仕 …

山手中学校長 橋本宗夫

今日の社会は情報化時代を迎え、物の豊かさと便利さで暮らしやすくなりましたが、その反面、青少年をとりまく社会の環境は、好ましくない状況を生み出しています。それにつれて、青少年の非行も多様化し、増加の一途をたどってきました。山手中学校も決して例外ではなく、前年度をピークとして減少傾向にあるとはいえ、まだ多くの問題を残しています。

非行防止には、学校、家庭、地域の相互の力によるところが大きいことは言うまでもありません。さいわい、山手中学校の家庭、地域のみなさんは、子供の教育や青少年の健全育成には極めて熱心であり、その成果が徐々にみられるようになってまいりました。そのことに深く感謝している次第です。

俗に、「燃えている家は早く消さなければならぬが、燃えない家を建てることこそ大切である」という言葉があります。日頃の健全育成活動は、「燃えない家を建てる」教育の一つに当たるものと思われまふ。

今回の山手中学校区少年健全育成パイロット推進協議会の主催する「海蔵川堤防清掃奉仕活動」は、奉仕活動を通して子供たちに、社会の一員としての自覚と、汗して働くことの意義を体得するよい機会であったと思います。関係者のみなさんに敬意を表します。

海蔵地区の人口 総数 10,713 男 5,350 女 5,363 世帯数 3,410(2月末現在)

編集・発行 海蔵地区社会福祉協議会・海蔵地区市民センター

青少年の健やかな成長を願って

山手中学校PTA会長 水谷 則幸

昨年五月、警察庁より当山手中学校区が、少年健全育成パイロット地区の指定を受けました。その目的は、次代を担う青少年たちが、非行に走らないよう、また、心身ともに健やかに成長するための環境づくりに、家庭と学校、そして地域社会が一体となって、取り組んでいくことにあります。

ものは、次のとおりです。

○地区のお知らせや立看板による広報啓発。

○毎月第三土曜日に、校区内の巡回補導パトロール。

○夏休みの各町盆踊の巡回補導

○少年健全育成・非行防止の標語募集。

などがあります。特に標語募集では、応募者全員への標語入り鉛筆の配布や、入賞者の表彰式を行いました。こうした活動を通じて、地域ぐるみでの青少年健全育

連合自治会の活動について

連合自治会長 館 増男

長年、お世話いただいた前中島会長のとを受けて、本年度より会長をさせていただくことになりました。地域に生まれ育ったとはいえ、行き届かないところが多くあり、今後、より一層皆様方のご協力を得て、地区の発展に微力を尽くしたいと考えております。

さて、連合自治会の活動は何かと問われたら、住みよい「海蔵地区」づくりと答えることができるのではないのでしょうか。ハード、ソフトの両面から、快適な暮らしができるよう、整備拡充を図るこ

とだと考えております。

具体的には、長期的な展望に基づいた物的環境の整備と、心の通い合う文化活動、福祉活動の充実であり、また短期的には、年次計画設定による諸事業の推進が必要と考えております。

現時点においては、いずれも不十分であり、今後、皆様方のご意見や各町内のご要望をよくお聞きし、各町自治会が足並そろえて進むことができるよう取り組んでいきたいと思っております。

この一年間を振り返ってみて、

成活動に、より高い関心を持っていただけるようになったのではないかと思います。

さらに、去る二月十九日(日)には、本年度のまとめとして、ふるさとの海蔵川堤防清掃奉仕活動

を、児童・生徒はもちろん、地域の諸団体の皆様の積極的なご協力を得て、千名をこえる参加のもとに実施することができました。

幸いにも快晴に恵まれ、上流は小杉の中倉橋から、下流は三ッ谷東町の新開橋までの海蔵川左岸堤防三・三kmを、子供たちはゴミや空き缶を拾い集め、大人たちは、そのゴミを収集運搬したりして、半日汗を流しました。

当日の主役である児童・生徒か



水防訓練 S 63年 6 月 5 日

海蔵地区のあるべき姿に一步でも近づくことができたかどうか、経験も浅くて十分ではありませんでしたが、とにかく、昨年四月から進めてきました活動内容をご報告申し上げます。

ら、「こんな所に缶を捨てたらだめだなあ」とか「きれいなになったね」という声を聞きました。またいい事をしたんだという満足気な顔に接するたびに、無償奉仕の喜



地区懇談会の開催

びや楽しさがわかってもらえたような気がしました。額に汗して働くことの意義や厳しさを体験し、また、郷土への愛着を深め、公德心を高める機会とするという今回の実施目的が十二分に達成されたのではないかと考えております。

作業中、交通整理や事故防止に注意をしてくださった皆さんのおかげで、だれ一人ケガもなく無事に終了することができました。

ご協力していただきました地域の各団体や住民の皆様方に、改めて深く感謝申し上げますとともに、このような奉仕活動が来年以降も継続されますことを念願しております。

(実績一四一%)

- そして、地区住民の皆様方に、それぞれの立場で、ご検討をいただき、さらに発展させるため、積極的な取り組みをお願い申し上げます。
- 昭和六十三年度事業の概況
- 6月・市長を囲む地区懇談会の開催。特に道路整備を重点課題として。
 - ・水防訓練の実施。海蔵川左岸河川敷、三百名参加。
 - 7月・地区重点要望事項について、市へ要望。
 - 8月・防災訓練の実施。清水町野田町を対象として。
 - 10月・戦没者戦災者合同慰霊祭。市民一日清掃の実施。
 - 11月・共同募金、歳末助け合い募金活動の実施。
 - 2月・山手中学校区少年健全育成パイロット推進協議会主催の海蔵川堤防清掃奉仕活動を支援、協力。
 - 3月・海蔵川桜まつり実行委員会の設置
 - 年間・事業推進のため、自治会長会議の開催
 - ・各種団体活動の援助
 - ・市委託事業及び広報活動の推進。
 - ・交通災害共済加入取りまとめ(加入率七二%)等。
 - 12月・個人浄化槽誓約、同意に関する研究会の設置。
 - 海蔵地区消防分団の機動力増強機材購入のため、各町より資金援助。

公会所修繕にあたって

西阿倉川自治会代表

伊藤 末男

「もうこの会所も古くなったなあ」と町自治会長会議の時、ある区の自治会長がぼつんと言い出しました。

昭和の初めから、その歴史を背負うように、大戦中には学校に早変わり、お祭といえば獅子舞いの練習等で青年団の集会所、現代風に言えばコミュニケーションの場として、皆から親しまれてきた会議所。当初、百軒そこの町民で、このような会議所を建設するには、大変な苦勞があったと推察されます。

冒頭の言葉をきっかけに、公会所修繕のことが現実問題となってきました。「町内の人に協力してもらって、お金を出し合って直したら」とか、「この古い建物を直すとなると相当かかるだろうし」



新装された西阿倉川公会所

とか議論がなされましたが、とにかく「どのくらいかかるものか見積もりしてもらい、その上でみんな考えてはいないか」ということになりました。

町も五区に分かれ、七百軒以上にもなっている現在、集会所がこのままでは発展が望めないのではないか。地域社会の発展を望むなら、まず、皆の集まる場を良くして、住民相互の交流を深めていくことが大事なことはないかと考え、西阿倉川各区の自治会の賛同が得られるなら、修繕工事を行うと決意をしました。

そして、各区の自治会、組長を通じて町内の住民の皆さんに、公会所修繕の趣旨を説明し協力をお願いしましたところ、皆さんに賛同していただくことができ、建設寄付金をお願いすることとなりました。

こうして昨年から、修繕工事が始まりますと、なにせ建物古いため、床を開けると大切な柱が腐っていたりして、修繕箇所がふえることとなり、費用がかさんできました。そのたびに、役員一同でどうしていくか、夜遅くまで話し合いをしたこともありましたが、そんな中で市の助成金も交付されることが決定され、何とか資金的な見通しもたちました。

正月を迎えるころには、ようやく改修工事も終わることができ、新しく生まれ変わった姿を見ることができました。ここまでこれしたのも、町内住民の皆さんや関係者の方々のご協力、ご支援の賜物であり、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

今後は、町内住民の皆さんで活発にご利用をしていただき、名称も西阿倉川会議所から「西阿倉川公会所」と改め、心の通い合うコミュニケーションの場、文化交流の場として、町の発展に寄与できればとお願いしております。どうか、皆さんの公会所として、ご利用ください。

婦人会活動について

婦人会長 藤田すず子

日頃は、婦人会活動に地域の皆様をはじめ、会員の皆様の深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

地域に根ざした会の運営ができればと、皆さんと一緒に努力してきましたが、残念ながら今一歩及ばなかったのではないかと反省しております。

さて、婦人会では、住みよい町づくりを目指して、毎年ブロック別で学習会を開催しております。参加された方が、地域の中で、その成果の芽を出していただければと、期待しておりますが、婦人会の努力だけでは解決のつかないことも多く、また参加者も限られて

くるため、どの程度地域の中に浸透できていくかとの思いがいつも残りました。

しかし幸いにも、昨年夏に三ツ谷町が、自治会の力強いご支援もあって、全町挙げて3日間連続で「ゴミ問題について」学習会を開催していただきました。おかげで多少なりとも良い方向に前進しているとお聞きし、よかったと喜んでおります。今後とも婦人会活動にお力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

激動の昭和も終わり、年号も平成となった現在、私たち婦人も新しいスタートラインに立って、今一度、反省をする必要に迫られているのではないかと思います。

社会参加されるご婦人が多くなった昨今で、会員の減少も多くなっているのは、会の運営上において、さらには存立さえ危ぶまれている状況にあります。

また、世界に類をみない高齢化社会へと急速に進みつつある現在、この問題は、私たちの、特に婦人の大きな問題になってくるのではないかと考えられます。

こうしたなかで、主婦であり、婦人である私たちは、今まで以上に、より一層の自覚をしていく必要があるのではないのでしょうか。その場合に、個人だけで悩むのではなく、地域の連帯組織としての婦人会活動のなかで、ともに考え学び合っていくことが、大切なことであり、住みよい地域社会をつ



ゴミ問題についての学習

くることにつながるのではないのでしょうか。

心と心のふれあいを深め、人と人の和を広げて、お互いに手を携えながら、私たち婦人にのしかかるさまざまな問題に取り組む婦人会として発展していくことを願っています。

どうか、婦人会活動に一層のご理解をいただき、一人でも多くの方にご加入をいただきまして、皆様方の英知を、婦人会運営にお役立てくださいますよう心からお願ひ申し上げます。

生きていくということとは、誰かに借りをつくること、生きていくということとは、誰かに借りをつくること、

誰かに借りをつくること、誰かに借りをつくること、

誰かに借りをつくること、誰かに借りをつくること、

誰かに借りをつくること、誰かに借りをつくること、

誰かに借りをつくること、誰かに借りをつくること、

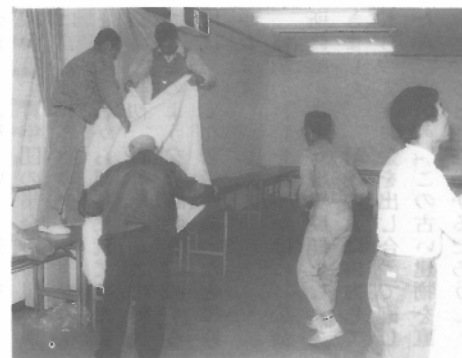
誰かに借りをつくること、誰かに借りをつくること、
(永 六輔 詩より)



▲協賛カラオケ大会

特別コーナー

第3回 海蔵地区
文化祭スナッフ
S63.11.5(土)6(日)
於 海蔵地区市民センター



みんなで会場づくりから

▼お茶席



ひとり暮らしのお年寄りを招いて



盆栽・菊花



写真・生け花



盆栽相談

▶ぜんざい



絵画・手芸
陶芸



▲書

小学生の作品



地域住民のふれあいの場に
海蔵地区社会福祉協議会
会長 山梨喜一

海蔵センターの新築をきっかけに、本格的に始めた地区文化祭も、これで3回目となりました。皆様方の素晴らしい作品が、会場一杯に展示され、訪れた人の目を楽しませ、また、お茶席やぜんざいコーナーで、歓談していただくことができました。

皆様方のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

さて、海蔵社協は地区内各団体の集合体として、地域住民の福祉向上を目的として活動しております。そのなかで、一年毎に行っている文化祭と運動会も、ふれあいの場として大切なものだと考えております。

地域の結びつきが薄れつつある現在、また、これから迎える高齢化社会のことを考える時、より住みよい地域社会づくりのため、住民相互のきずなを深め、みんなで考えていくことは、ますます重要なことではないかと思えます。

海蔵社協が、その推進役になれますよう、地域のみならず、各団体の積極的なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

交通安全協会について

四日市交通安全協会
四日市北交通安全協会

海蔵支部

海蔵地区は末永・本郷・清水・野田が四日市南署、そのほかの町は四日市北署の管内となるため、交通安全協会も四日市と四日市北とに分かれております。

この協会は、現代社会に欠くことのできなくなった自動車交通による事故を防止するため、交通安全運動の展開、施設の整備や広報啓発活動の推進に寄与することを目的としています。

現在、海蔵地区として会員は、両者合わせて約五千百名で、毎月十一日の交通安全の日には、役員や代議員の皆さんにお願いして、街頭指導の実施を行っており、また、全国的な交通安全運動期間中には、婦人部会の人たちで、駅前等での広報活動を行っています。さらに、地区の行事がある時は、交通整理等にあたり、事故防止に努めております。

昨年、三重県内では交通死亡事故が多発し、人口10万人当たりの死亡者数が、全国ワースト5位という不名誉なものとなってしまいました。

桜の四月には、新入学の子供たちが通学を始めます。

どうか、車を運転される皆さん方には、くれぐれも安全第一の心構えでハンドルを握っていただきたいと思います。

なお、交通安全や協会のことに

ついて、ご意見等ありましたら、何でも結構ですから、ご連絡をください。皆さんのお役にたてれば幸いです。

会員一同、安全で住みよい町づくりにがんばります。

スローガン

マナーアップ三重 89

「交通安全は
まずわが家から 職場から」

海蔵消防分団

分団長 館 智 高
団 員 一 同

平素より海蔵分団の活動に、ご協力をいただきありがとうございます。

昨年六月一日から、海蔵分団長という大任をさせていただくことになりました。未熟ではございますが、皆様方のご協力を得て、一生懸命務めさせていただきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

現在、団員14名、平均年齢38才、男ばかりのこの分団は、質素で華やかさは少ないのですが、いざ出動ともなると、その機敏な動作で、団員一同が消火活動に疾走しております。その努力は、昨年夏の消防操法大会で、堂々四位入賞という栄誉に輝きました。

さて、昨年秋季には、連合自治会のご援助をいただき、ホースカー

投光器等の機器を充実することができました。団員一同、さらに一層奮起して、頑張りたいと思っています。

これらの機器が消火作業に役立つことは、とてもありがたいのですが、しかし、反面、使わなくてはほしいと願うばかりです。

ちなみに、昨年の四日市地区の火災状況は、発生件数が百十八件（うち海蔵地区で5件発生）で、原因として①たき火が15件、②タバコの不始末が14件、③てんぷら油13件、その他60数件となっております。

火災は、皆さん一人一人の注意で、防ぐことができるのです。

どうか、貴重な生命や財産を無にしてしまうことのないよう、外出の時や、夜寝る前に、もう一度、ガス栓、風呂釜のタネ火、ストーブの消火などを点検するようにしましょう。

「その火、その時、すぐ始末」

さらにもう一度 火の用心

みなさんの協力を得て
装備したホースキャリアカー



毎月第1・3日曜日には、
消火栓の点検などを行います

郷土の誇り

天然記念物 イヌナシ・アイナシ自生地を守り育てよう



イヌナシ自生地の清掃

イヌナシ保存会 杉本 幸雄

イヌナシは、野性ナシの中で果実が最も小さく、原始的な性質をもっており、梨の系統を調べるのに大切な資料です。またその強健な性質は、栽培ナシの改良研究にも貴重な資料となっています。

現在、わずか数カ所残っているだけですが、この東阿倉川の自生地は、わが国で学会に初めて発表されたものです。この自生の状態を永久に保存するために、大正十一年十月十二日、国の天然記念物として指定されたものです。

地区の誇りであるイヌナシを守り育てていくため、地元でイヌナシ保存会をつくり十五年余りになります。この保存活動は、常に地区の子供会や山手中学校の若い人達の清純奉仕などで支えられてきました。

こうした活動により、自然環境を守り育てる心や、地域社会の一員としてのふれあいが高まることを期待し、明るいまちづくりに貢献できればと願っております。



アイナシ自生地案内板の設置

西阿倉川十日会 伊藤 甚吉
西阿倉川のアイナシは、東阿倉川イヌナシとともに学術的にも貴重なものだといわれておりました。ただ、余りにも身近にあるせいか、その大切さが判りにくい気がしておりました。しかし、昨秋、鈴鹿市のアイナシを訪ねた際、西阿倉川のアイナシが、わが国で最初に発見されたことを改めて知り、そんなにも大切な木であったのかと思いを新たにしました。

アイナシの保護には手がかかりますが、郷土の誇りとして、今まで以上に大切にしていきたいと思っています。

昨年、花が咲いた時と実を付けた時に、保育園児たちが見学にきてくれました。この子らが大人になっても、ふるさとには、「こんな立派な自然が残されていた」と言えるようにしていきたいと思っています。

スポーツで地域のふれあいを

海蔵地区体育振興会

会長 富永正済

体育指導員・会員一同

みなさん、お元気ですか。

海蔵地区体育振興会は、手軽に行えるスポーツを通じて、健康と地域のふれあいを深めようとして集まっています。

さて、当体育振興会では、現在、バレーボール、バドミントン、インディアカ、ソフトボールの4種目で活動しております。それぞれについて、ご紹介します。

バレーボールは女子だけで、毎週水・土の午後7時～9時、海蔵小体育館において、女子チーム得意の会話と楽しみバレーで、練習に試合にと活動しています。

バドミントンは男女で、毎週土曜日の午後7時～9時、山手中体

育館において、二十数名か小さな羽根を追って、前後左右に体を動かし、楽しい汗を流しています。

インディアカはとても手軽な新しいスポーツです。海蔵地区では、昨年夏から始め、現在、男女三十数名が参加しています。毎週金曜日の午後7時～9時、海蔵小体育館で練習に励んでいます。

ソフトボールは男女別で、3月から11月まで、海蔵小、山手中などのグラウンドで、年間リーグ戦や地区大会を行っています。また、市の大会などにも積極的に参加して、会員相互のふれあいも深めております。

スポーツは、自分自身の体力、健康づくりが大きな目標となっております。当体育振興会でも、スポーツによる健康の増進と地域住民相互のふれあい、親睦に重点を

おこなう中で、楽しみの輪が広がるようにしたいと考えております。

夏冬は冷暖房でしのぎ、歩くことさえ少なくなってきた現在、積極的に体を動かし鍛える方法は、楽しみながらスポーツをすることではないでしょうか。スポーツは、老若男女を問わず、四季折々の楽しみ方ができるものです。みんないい汗を流して、ストレスの解消を図り、明日への鋭気と体力を養おうではありませんか。



子供会球技大会での審判

海蔵地区老人クラブ若生会

会長 館 佐 市

若生会では、会員の親睦を深め、健康で楽しい生活を過ごし、また社会へ何かご奉仕したいといういろいろな活動を行っています。

毎月 神社墓地などの清掃奉仕
年四回(3・6・9・12月)
一円玉募金を行い、四老連から市社会福祉協議会へ寄付
年末助け合い運動に

全員が一円十玉募金
正月 伊勢神宮初詣
5月 若生会総会
9月20日 全国一斉老人クラブ連合会社会奉仕に全員参加
10月 前年度物故者の追悼法要
年四回 見学親善旅行
年四回 海蔵地区GB大会

唆があるように思います。

どのお年寄りも、それぞれの人生を精一杯頑張ってきた生きた方ばかりです。世の中は、物があふれ豊かに、便利にはなりましたが、お年寄りが敬われない社会では大いに問題があります。

お年寄りが、人生を楽しく歩んでいただけるような地域社会をめざして、民生委員としても頑張っていきたいと思っています。どうか、地域の皆様も、わが身の事として、高齢化問題や地域の福祉についてお考えいただき、ご協力をお願いしたいと思ひます。

・年三回 四日市東部GB大会
・年三回 四日市市連合GB大会
・カラオケ 毎週一回の練習
年二回の発表会

・四老連、母子福祉会共催運動会
このほか、三月中旬に、若生会GB場西隣に「いきがい農園」を開園し、野菜や四季の草花などを植えたいと思っています。

また、若生会婦人部では、毎月第一木曜日を奉仕の日として、海蔵センターに集まり、手芸品などを作っております。昨年はバザーを催し、この売上金を年末助け合い募金に寄付しました。また、幼稚園や小学校に、お手玉、雑巾、紅白の玉などを作って贈ったり、病気の方には千羽鶴を折ってお届けしております。

現役を退いても、まだまだ、できることは多くあります。老人クラブ活動のなかで、いつまでも若く元気に過ごしましょう。



若生会婦人部の奉仕作業

お年寄りの幸せを願って

民生委員 小野 ひさる

やがて到来する高齢化社会のこと、大きな社会問題となりつつあります。また、核家族化の進行や都市化の進展により、住民相互の連帯意識も薄くなってきているような気がします。

誰でも、いつまでも若者でいたいのですが、時間は平等に流れ、いつかは、お年寄りになっていきます。高齢化社会にどう取り組むかについて、海蔵地区としても、今からみんなで考える必要がある



独居老人のつとめ
幼稚園児と人形劇の鑑賞

のではないのでしょうか。

市でも、その対策に取り組む初めてありますが、その一例をご紹介します。

現在、一人暮らしのお年寄りは

サークルご案内

詩吟

『海蔵吟詩会』

私たちは、毎週火曜日の夜7時から、海蔵センターで、詩吟を学んでいるグループです。

練習を積み重ねて上達してきましたので、昨春は、吟詠三重県大会において、県代表に二名が選ばれ、全国大会に出場することができました。

また、秋には紀伊長島へ親睦をかねて日帰り旅行を行い、詩吟はもとより、隠し芸など披露しあつて、心ゆくまで楽しむことができました。

今後とも、親睦を深めることを

『三重岳仁会』

市民センターを利用していただいて、今年ではや九年になります詩吟の愛好会です。

三重岳仁会は、県内で六地区、(三員、四日市南・北、亀山、鈴鹿、津)あり、私達は四日市北地区二八支部二四一名の中のひとつです。昨年からの行事は、

三月 春季審査会

五月 婦人部十周年記念大会

七月 段位別競吟大会

八月 椿神社奉納吟大会

九月 婦人部吟行会

秋季審査会

十月 一吟会

十二月 忘年大会



中心に、会員の和と礼節を重んじながら練習を重ね、海蔵地区の人の交流と文化の発展に、少しでもお役にたてればと、会員一同努力していきたいと考えております。

これから、詩吟を学びたいと思われまます方は、ぜひ一度練習風景をご覧いただければと思います。お待ちしております。

連絡先 渡辺三十一 九七八四



二月、四日市南北吟道講座とつづき、また、来る四月十六日には会の創立三十周年記念大会を、文化会館にて、全国から著名な先生方を招き開催する予定です。

皆様方のご来場をお待ちしますとともに、新しくご入会されます方を募集しています。

連絡先 伊藤三十一 〇六四二

民踊

『やよい民踊会海蔵支部』

民踊の集いをもって、はや四年目となります。

メンバーは、三十代から？十代までのうるわしき美女ぞろいの主婦ばかり十五人です。

仕事や家事であわだたしい中を、毎週火曜日の練習に通っておりませんが、この時間はまた、とても待ち遠しいものとなっております。すべてを忘れて夢中になれる時



でもあり、また、おしゃべりなどを通して、親しみを深めるいい機会となっています。

また、日頃の練習の成果

を見ていただく場として、年の始めには初舞会、夏には盆踊りやゆかた会に、そして地区の演芸大会や文化祭などに、会員一同、楽しく参加させてもらっています。

みなさんも、美容と健康に、また友達づくりに、民踊と一緒に楽しく始めてみませんか。

明るい輪が広がればと思います。

連絡先 近藤三二一 八四五五

俳句

菜の花 三滝グループ

俳句の勉強には、いろいろな楽しみ方があります。

私達のグループは、現在、17名で女性ばかりです。毎月一回の定例日に、皆が寄つて、兼題により即席で五句以上作つたものを、互選したのち批評をしいています。

思いがけない高点をとったり、より適切な言葉を教えられたりして、皆でワイワイ懇談をし、楽しいひとときを過ごしております。

その後は、皆が持ちよつたいろいろな菓子、野菜、煮豆、漬物などを、賞品として全員に当たるようにしております。

俳句を楽しみたい方、大歓迎！毎週第二木曜日が例会日です。

連絡先 江崎三十一 二八三

家庭教育研究会

私たちは、明るい家庭づくりを目指して、毎月第四木曜日に、センターで学習会をしております。

人は子どもをもつて初めて、親としての経験をします。親も子育て一年生です。その親をみて子どもは育ちます。これが家庭教育は、家庭共育ともいわれるわけです。

一人で考えるより、みんなでもに考えましょう。

講師は大井通江先生で、参加は自由で無料です。

連絡先 田中三十一 四八三五



工作教室とかるた会

海蔵文庫



八月、夏休み工作教室。厚紙で作る動く人形たち。ピエロ、ダンブカー、女の子、ブルナナさん絵本のうさぎさん。百名を越す良い子たちで、いっぱいになりました。



一月には、かるた会。「犬も歩けば棒にあたる」和室に入りきれない程のこどもたちと歓声。

本を読むことだけでなく、紙芝居、語りきかせ、映画会、音楽会など、色々な催物を行って、子供たちによい思い出となるようにしたいと、文庫のおばさん達の夢は、果てし無く広がります。

編集後記

春の日差しが、桜並木のつばみをはこぼせば、海蔵地区にいろいろをそえる頃となりました。

この広報が、過ぎし一年を振り返り、より住みよい地域社会づくりのひとつの手立てになればと念願しております。

発行にあたりまして、原稿をお寄せいただきました方々に、心から厚くお礼申し上げます。

(地区広報編集委員会)